



鈴鹿市議会議員（日本共産党）
 発行 2017年 9月 1日 260号
 森川ヤスエの市政だより
 鈴鹿市矢橋 3-10-34 電話：384-3740,
 fax:384-2907
 URL: <http://blog.ymorikawa.net/>



原爆パネル展準備活動

財政健全化審査 「指摘すべき事項はない」

九月議会が八月二十九日から始まりました。議題は主に決算の審議です。説明では二八年度も黒字（表を参照）でした。この数字が示すように

平成28年度決算の数字 (単位:円)	
実質収支の差額 (黒字額)	638,040,636
基金積み立て額	400,000,000
29年度へ繰り越し金	238,040,636

とのことです。

指摘すべき事項はない」
 決算に基づくと財政健全化と経営健全化についての審査意見書の説明はどちらも良好で「指

鈴鹿市の黒字は必要なことを後回しにした結果ともいえますので、貯金をすることにはあまりに走らず、学校のトイレ改修などももう少し必要な

ことに財政をまわしてもいいのではないかと
 思います。

九月議会に上程された補正予算に直接市民生活にかかわるものとして木造住宅耐震補強工事費補助費が九百五十二万二千円計上

されています。（昭和五五年以前建築の木造住宅で耐震診断を受けて耐震性がな
 いと診断された家屋の耐震工
 事を行う場合に申請して受け
 られる補助金です。）

その外、箕田分団、若松分団、椿分団に配備された小型動力ポンプ付積載車更新議案も出ています。

七月三一日から八月二日までの三日間、地域福祉委員会は、東京都江戸川区と栃木県の

小山市、宇都宮市に出掛け子どもの貧困対策や発達障害児支援につ

いて視察してきましたので感心させられた点など一部簡単に報告します。

東京江戸川区

江戸川区では、自らのまちの子どもの実態はどうか？今ある施策をどう活かせば効果的か、新たな支援が必要となるのか、地域全体で支え合う仕組みを活

かせないかの視点から、経営企画部が実態把握のためにアンケート調査と整理、分析し施策の拡充と再構築をおこなったと説明を受けました。

貧困の姿がリアルに

調査の対象は子ども家庭ではなく、日ごろかかわっているみなさん例えば、保育園、学校、民生・児童委員、保護司も含めて一五〇〇人の方に過去に直面した事例、子どもや子育て世帯が抱える課題について記述してもらった事で数字で

しか見えない貧困の姿をリアルに把握されたように思います。

ワンストップで連携

そのうえでこども家庭支援センターを中心とする支援体制を構築し、支援センターがワンストップサービスの受け皿になっている点に自治体としてこどもの貧困を正面から受け止める姿勢を感じました。その姿勢がデータの公表にも表れ、市の子ども・子育て世帯を対象にした主要事業が一覽で明示され全体把握がしやすい工夫がされ

ていました。「おうち食堂」として食事支援ボランティア派遣事業の感覚は少し驚きでした。

◎小山市

小山市は、子ども貧困撲滅五か年計画をトップダウンで策定し、ワンストップ対応をしようとする努力がなされています。計画の対象を妊娠から一八歳までとしたことがいいです。施策や事業の内容は鈴木市の内容とも多く重なりますが、市長を本部長とする市全体の取り組みにしている点は、

見習うべきことだと言
えます。食の支援、や
ハローワークの出張窓
口の受け入れ、養育支
援員派遣事業、スクー
ルソーシャルワーカー
の配置以外にコミュニ
ティソーシャルワー
カーが各公民館に配置
されている点は優れて
いると感じました。

きめ細かな支援を可能にする設備と職員配置

宇都宮市

子どもの発達障害支
援について施設見学も
含めて宇都宮子ども発
達センター（愛称ここ・
ほっと）に出掛けまし

た。構造は表を参照。
医療型児童発達支援
センターと児童発達支
援センター、そして保
育園を併設しています。
さらに・子育てサロン・
障がい者地域生活支援
センター・日中一時支
援事業（放課後支
援型）も行い、二
階には医務室を備
え、毎日医師が常
駐し診療も行って
いることなど大変
素晴らしい施設です。

素晴らしい施設です。

構造	鉄骨造 2階建
敷地面積	約 8,901.00 平方メートル
延床面積	約 3,405.61 平方メートル

素晴らしい施設です。

運営面も施設の管理責
任者の他児童指導員、
保育士・看護師・小児
科医・小児神経科医・
作業療法士・理学療法
士・言語聴覚士・心理
相談員・栄養士など正
規雇用で適正配置され
ているので、療育や支
援体制が子どもたちの
特性にあったきめ細か
な工夫や体制がとられ、
温水プール訓練も取り
入れていることは感動
です。

この施設を一〇年以
上も維持する市民意識
の高さに感激しました。

模範的療育水準の普及

定員があるので入所

鈴鹿市商工会議所建設部会との懇談会に参加

建設事業者の高齢化の進展、技術者不足が深刻、建設事業者の減少傾向に歯止めがかからないことなど深刻な実態の報告を頂きました。

防災の日を迎えて

九月一日の防災の日を境に大型台風や地震など自然災害も増えることから自然に防災について考える機会も増えます。

災害時の助っ人

建設事業者は、自然災害の復旧・復興作業

に一番力になってくださる方たちです。各地域で事業を行っていることはとても大事なことでだと思えます。その観点から鈴鹿市議会も、市の公共工事はできるだけ市内業者に回るようにと市長へ提言しています。今回の学校エアコン事業へ市内業者が一部参加できたと懇談会で部長さんがお礼をのべられました。

国連総会参加報告会

八月一九日に、七月の国連総会に出席して核兵器禁止条約採択を

見守ってきた日本共産党参議員議員井上哲さんの国連報告を聞きました。そういう議論は信じない。明らかに核兵器は少ない方が、そしてない方がわれわれはより安全になるのだ。それのみが、誰をもより安全にするのである」

心に残ったオーストリア代表の発言の一部

「核兵器は世界をよ

りに安全にする

という議論に従えば、より多くの国がより多くの核兵器を持った方が良いというのを意味することにならないだろうか？我々は、

2017年森川ヤスエ8月のあゆみ		
1	委員会視察(小山市)	17 全員協議会、政策学習会、会議
2	委員会視察(宇都宮市)	18 戦争法廃止スタンディング、赤旗街頭宣伝活動他
3	生活相談活動、他	19 メッセージ展朗読劇参加、井上哲さん国連報告会
4	国保運営協議会出席、原爆パネル展準備	20 平和のメッセージ展参加、会議他
5	生活相談活動、他	21 メッセージ展当番、ニュース配布活動、他
6	原爆パネル展当番、会議、他	22 ニュース配布活動
7	会議。資料整理	23 会議、ニュース配布活動
8	ニュース配布活動、他	24 商工会議所建設部会懇談会参加、ニュース配布活動
9	6・9核廃絶署名活動参加、ニュース配布活動	25 ニュース配布活動、会議、
10	地域福祉委員会、ニュース配布活動	26 ニュース配布活動、訪問活動他
11	資料整理他	27 ニュース配布活動、
12	休み	28 ニュース配布活動他
13	休み	29 議会開会日、質問打合せ
14	休み	30 ニュース印刷作業、ニュース配布活動
15	街頭宣伝活動	31 ニュース折込作業他予定
16	休み	